

“住んでてよかった これからも住み続けたい” まちづくりを

議会かわら版

No.60
10月号



H28年度の行政視察受入件数、更新中！



留萌市議会は、全国の市区町村議会より行政視察を受け入れています。12月までの予定で、合計29件180名となり、過去最高の受入件数になります。視察の主な案件は以下の通りです。

- ① 農業と福祉の連携による6次産業化（農林水産課） 15件
- ② コホートピア構想について（健康の駅） 9件
- ③ 議会改革の取組について（留萌市議会） 6件 その他3件 ※重複あり

議会改革の取組では、議会運営委員会が担当し、議会基本条例の制定経緯や市民と議会の意見交換会について説明、質疑を行っています。また、訪れる議員には宿泊し、留萌の食にも触れていただくようお願いしています。



幌糠農業・農村支援センターの視察

陳情書が3件提出されました。

現在、市内には公衆浴場（銭湯）が1軒もありません。これまで公衆浴場を利用してきた市民は、非常に厳しい状況におかれており、市議会に対し陳情書が出されました。1. 希望する市民が、低料金で気軽に利用できる公衆浴場（銭湯）の再開、またはこれに代わる対策を早急にお願いします。

これを受け、緊急を要する案件として議会運営委員会において所管である第2常任委員会に付託され審査に入りました。



5月末で営業廃止した浪華湯

※陳情書とは…

国民の権利で、国や地方公共団体に対し意見や希望を述べたもので、請願と違い紹介議員を必要としないもの。



この記事は議会広報常任委員会（おしらせ掲示板・HP作業班）が作成しております。